

科目ナンバー	C 3206	要件	保育必修	授業形態	講義	対象学生	I A B
授業科目	社会福祉						
実施期	前期	単位数	2単位	授業者 担当者	岩本 健一		
【科目の概要】							
社会福祉の意義・理念を体系的に考察する。あわせて社会福祉制度の法・実施体制、サービス利用の仕組み等について学ぶ。その上で社会福祉の現状と課題を知り、現代社会福祉問題の動向を把握する。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	社会福祉に関する法体系、制度、実施体制についての基本的な知識を修得している。						1-b
イ	利用者の置かれている現状を理解し、どのような支援策があるのか考えることができる。						3-b
ウ	社会福祉の現状や課題について関心を深め、積極的に関わろうとする。						4-b
【授業の内容】					【実施日】	【授業時間外学習の内容】	
1	社会福祉とは				月 日	シラバスを熟読しておく。課題については、フィードバックを行う。	
2	社会福祉の援助活動 1 (対人援助とは)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
3	社会福祉の援助活動 2 (社会福祉援助とは)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
4	社会福祉の援助活動 3 (社会福祉援助の視点)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
5	個別援助 1 (援助モデル) (意見発表)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
6	個別援助 2 (個別援助の展開過程)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
7	社会福祉の政策 1 (社会政策とは何か)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
8	社会福祉の政策 2 (社会福祉の補充性と固有性) (獲得を目指す力の確認)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
9	福祉国家の形成 1 (社会福祉の補充性と固有性)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
10	福祉国家の形成 2 (ベヴァリッジ報告)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
11	福祉国家の形成 3 (福祉国家はどこへ行くのか)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
12	日本の社会福祉の歩み (意見発表)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
13	社会福祉の運営 1 (社会福祉の対象)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
14	社会福祉の運営 2 (社会福祉の供給体制)				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
15	社会福祉の理念				月 日	課題 復習のワーク (0.5時間)	
16	期末試験				月 日		
【教科書・テキスト】 稲沢公一・岩崎晋也著『社会福祉をつかむ』有斐閣、2008年					【成績評価の方法】 定期試験60% レポート・平常点40%		
【参考書・教材】							
【履修要件及び履修上の注意事項】 社会福祉に関するニュース、新聞記事に関心をもち、講義内容に関する質疑を積極的に行うこと。							
【履修上の遵守事項】 レポート等の課題は、提出期間内に必ず提出すること。提出期限を過ぎると受理しない。							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先：N5岩本研究室 オフィスアワー：							

〈チェックシート〉					
準		基	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	社会福祉の援助活動についての基本的知識	援助や理念にかかわる主な用語を知っている。	援助や理念について、その概要を説明できる。	社会福祉援助の視点として、2軸によって対象を把握し、利用者を援助する方法について適切に考えることができる。	
ア②	社会福祉政策について、目的と内容についての基礎的な知識	生活を支える3つの仕組みについて知っている。	生活を支える3つの仕組みを調整する国の仕事について説明できる。	今後必要とされる社会福祉政策について考えることができる。	
イ	社会福祉を必要とする利用者の問題についての理解と、状況判断	新聞記事及びインターネットなどで、社会福祉に関する記事を読む。	社会福祉に関する書籍や視聴覚資料などを読み、状況や背景について考える。	社会福祉に関する書籍や視聴覚資料を進んで収集し、理解を深めている。	
ウ	ワークシートによる学びの整理と発展	ワークシートに教科書に記載されている内容を記述する。	ワークシートに疑問点などを記述し、課題を考えようとしている。	ワークシートから浮き出たテーマについて自分なりに調べてみようとしている。	
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					